

東日本大震災復興関連事業チェックシート
(平成23年度第3次補正予算)

(厚生労働省)

事業名	国立ハンセン病療養所災害復旧事業		担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国立病院課国立ハンセン病管理室		室長：古川浩二		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・厚生労働省設置法(平成11年法律第97号)第16条第1項 ・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)		関係する計画、通知等	・国立ハンセン病療養所における療養体制の充実に関する決議(衆参) 衆議院における決議(平成21年7月9日) 参議院における決議(平成22年5月21日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災で被災した国立ハンセン病療養所の災害復旧を行い、もって入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災で被災した国立ハンセン病療養所(3施設)の災害復旧 ・国立療養所東北新生園(宮城県登米市) ・国立療養所栗生楽泉園(群馬県草津町) ・国立駿河療養所(静岡県御殿場市)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
23年度予算額 (単位：百万円)	当初	第1次補正	第2次補正	第3次補正	計			
	-			39	39			
成果目標 (アウトカム)	成果指標	単位	目標値		活動指標 (アウトプット) <small>※上段()書きは予算措置の累積に係る見込み</small>	活動指標	単位	23年度活動見込
			23年度	(年度)				
被被災した建物等の復旧	箇所	23	-	被被災した建物等の修繕	箇所	23		
単位当たりコスト	1,698,609(円/箇所)			算出根拠	平成23年度3次補正予算額/修繕箇所数			
事業所管部局による点検								
項目				内容				
「復興への提言」及び「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された諸原則や施策の考え方との整合性がとられているか。				被災地の医療施設である国立ハンセン病療養所の災害復旧に係る事業であることから「復興への提言」等との整合性がとられている。 【参考】東日本大震災からの復興の基本方針(抜粋) (2) 地域における暮らしの再生 ① 地域の支え合い (iii) 被災者が安心して保健・医療(心のケアを含む。)、介護・福祉・生活支援サービスを受けられるよう、施設等の復旧。				
被災地のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。				入所者の生活の場である不自由者棟等の修繕を早急に実施する必要があることから優先度が高い事業である。				
効果的な事業であるか(より高い効果をあげる手法の選択、類似事業等との役割分担、客観的な将来見通しなど)。				入所者の生活に直接関わる施設等の修繕であることから効果的な事業である。				
費用対効果や効率性の検証が行われたか。				複数の業者から見積書を取ることで費用に係る検証を行った。また、入所者が生活する不自由者棟を修繕(原状回復)することは療養環境の維持・向上に必要不可欠である。				
国、自治体、事業実施者、民間等の役割分担などのあり方は明確か。				国立ハンセン病療養所は国の施設等機関であることから、役割分担のあり方は明確である。				
他の事業と整合的で、計画的に実施されるものとなっているか。				国立ハンセン病療養所の管理運営について他の事業と類似するものはなく、国が直接災害復旧を計画的に実施するものである。				
事業の迅速な着手・執行が可能であるか。事業の執行などの透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようになっているか。				国が直接実施するものであることから、関係する会計法令等に基づき、事業の迅速な着手・執行、透明性の確保、適切な進行管理は可能である。				

注1. 「活動指標(アウトプット)」欄の「活動見込」については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算(第2次補正予算を含む。以下同じ)若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で累積の見込みを記入すること。

注2. 「単位当たりコスト」欄については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で「(23年度1次補正 × ×円/)」などと記入すること。

注3. 「内容」欄には、すべての点検項目毎に点検の結果及び方法、これらの客観的な根拠について具体的に記入すること。